

広 報

家畜衛生ますだ

令和4年6月

発行・編集

益田家畜保健衛生所（西部農林水産振興センター益田家畜衛生部）

〒698-0007 益田市昭和町13-1 益田合同庁舎1階

TEL 0856-31-9730 FAX 0856-31-9739

口蹄疫が終息して12年

現在、日本国内において、鶏では『高病原性鳥インフルエンザ』、豚・イノシシでは『豚熱』といった海外悪性伝染病が毎年のように発生しています。では、牛の伝染病はどうでしょうか？ 牛の伝染病で一番恐れられている病気は、何と言っても『口蹄疫』です。国内で最後に確認されたのは平成22年（2002年）、宮崎県での発生で、約30万頭もの牛・豚などの命が失われる壊滅的な被害でした。あの悪夢から既に12年が経過しましたが、昨日のようなことでもあり、またはるか昔であったような気分でもあります。



【宮崎県口蹄疫復興メモリアルサイト HP より転掲】

宮崎県での口蹄疫発生を機に、飼養衛生管理基準の改正、海外からの病原体侵入防止のための動植物検疫強化など様々な対策が取られてきました。私たち畜産関係者も、今一度、当時を振り返り、口蹄疫という家畜伝染病の恐ろしさ、日々の対策の重要性について考えてみましょう。



『宮崎県口蹄疫復興メモリアルサイト』
平成22年に宮崎県で発生した家畜伝染病
「口蹄疫」に関するホームページです。
(QRコードを読み取ってください)



『農林水産省 HP』
口蹄疫に関する情報です
(QRコードを読み取っ
てください)



口蹄疫特有の粘着性のあるヨダレ



牛の舌にできたびらん（水泡が破れた痕）

豚熱について

1. 豚熱とは？

豚熱ウイルスが豚やイノシシに感染することで起こる病気です。発熱、食欲不振、元気消失等の症状を示し、伝染力が強く死亡率も高い病気です。

※豚熱は人に感染することはありません。また、豚熱に感染した豚のお肉が市場に出回ることもありません。

2. 国内の野生イノシシでの発生状況

現在 28 都府県で野生イノシシでの感染が確認されており、中国地方では、令和 4 年 3 月 17 日に山口県、21 日に広島県で感染が確認され、以降両県で 29 例確認されています (R4. 6. 22 時点)。島根県でも令和 4 年 5 月 19 日に県内初の豚熱感染が確認されています。



: 野生イノシシ感染確認都府県

県内における野生イノシシ豚熱感染確認について

令和 4 年 5 月 19 日、吉賀町で発見された野生死亡イノシシから、**島根県内初の豚熱感染を確認**しました。野生死亡（衰弱）イノシシを発見した際には、速やかに益田家畜保健衛生所（0856-31-9730）または、西部農林水産振興センター益田事務所（林業普及第二課 0856-31-9572：野生鳥獣担当）までご連絡ください。

【連絡時のお願い】

- 死亡しているイノシシの状態を詳しく教えてください。
 - ・おおよその大きさ（重さ）
 - ・車が近くまでいける場所か
 - ・死亡個体の状況
- 以下の場合、**検査不適**として個体回収しない場合があります。
 - ・死体の一部が白骨化している
 - ・内臓等が食い荒らされている
 - ・死体から 1m 以上離れても腐敗臭を感知できる
 - ・死体が水中にある場合、被毛の一部が脱落している



【死亡野生イノシシ】

- ・雄、体長 120cm
- ・推定体重 50kg
- ・民間所有地畑脇のあぜ道で発見
- ・周囲には消毒液散布

県内飼養豚豚熱ワクチン接種について

令和 4 年 3 月に山口県・広島県で野生イノシシの豚熱感染が確認されたことを受け、令和 4 年 4 月からペットのミニブタ・マイクロブタを含む島根県内すべての飼養豚および飼養イノシシについて、豚熱ワクチンの接種を行っています。令和 4 年 5 月には県内でも野生イノシシの豚熱感染が確認されており、本病の蔓延リスクは高まっています。飼養豚および飼養イノシシへのワクチン接種は今後も継続して行います。万が一、飼養中の豚（ミニブタ・マイクロブタを含む）やイノシシのワクチン接種がお済みでない場合は、益田家畜保健衛生所（0856-31-9730）までご連絡ください。